

# 地理歴史(日本史) (2024)

- (注意事項)
- 1 問題文は13ページあります。
  - 2 解答は解答用紙の所定欄に記入してください。下書きは、問題冊子の余白を利用してください。ただし、回収はしませんので採点の対象とはなりません。
  - 3 解答は一部記述を含むマークセンス方式となっていますので、解答用紙の注意事項をよく読み解答してください。
  - 4 受験番号・氏名・フリガナは、監督者の指示に従って、解答用紙の所定欄に丁寧に記入してください。
  - 5 解答用紙にマークセンス方式の受験番号欄があります。受験番号をマークする際は濃く丁寧にぬってください。
  - 6 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページ落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

I 次の文章を読み、設問に答えなさい。

江戸時代には、幕府と諸藩が全国の土地・人民を支配した。この政治社会体制を幕藩体制とよぶが、① 武士は政治や軍事を独占し、さまざまな特権をもつ支配身分であった。

ところが、明治時代になると、武士の地位は大いに揺らぐことになった。新政府は四民平等の理念にもとづいて身分秩序の再編を進め、公家・大名を 、武士を士族、農民や商人・職人を平民とした。軍事面においても、士族・平民を問わず、兵役の義務を課すことがめざされた。② その結果、1873年に徴兵令が公布され、軍事を独占するという武士の特権が剥奪された。

また明治政府は政府直轄軍の創出を試みていた。1871年、薩摩藩・長州藩・  藩の3藩の兵を御親兵として東京に集め、その武力を背景に廃藩置県を断行した。廃藩とともに藩兵を解散させ、一部は兵部省のもと各地に設けた鎮台に配置することで、反乱や一揆に備えた。その後、兵部省は陸軍省と海軍省に分離した。1878年には陸軍に参謀本部が、1893年には海軍に軍令部が設置されるなど、統帥機関が強化された。

1889年に発布された大日本帝国憲法第11条では「天皇ハ陸海軍ヲ統帥ス」と定められ、陸海軍の統帥権は内閣から独立して天皇に直属するものとされた。また第二次山県有朋内閣は  制を定め、政党の力が軍部に及ぶことを阻止しようとした。この制度は、のちに内閣の行動を制約することになった。たとえば、第二次西園寺公望内閣では、行財政改革をかかげる内閣と、朝鮮に配備する二個師団の増設を要求する陸軍が対立したが、このとき陸軍大臣が単独で辞任し、陸軍が後任者の推薦を拒んだため、内閣は総辞職に追い込まれた。

日本軍は日清戦争・日露戦争・第一次世界大戦という相次ぐ対外戦争に勝利をおさめた。第一次世界大戦後の日本は、アメリカ・イギリスに対抗して海軍を中心に軍備拡張政策をとり、軍事費が国家予算の約50パーセントを占めるまでになっていた。建艦競争はアメリカ・イギリスにとっても大きな負担であった。

そうしたなか、アメリカの提唱で、1921年11月からワシントン会議が開催され、海軍軍縮について協議がおこなわれることになった。このとき日本国内では、おもに海軍軍令部が主力艦の保有量について対英米7割を強く主張していた。全権の加藤友三郎はこれをおさえて、軍縮条約の調印に踏み切った。さらに1930年のロンドン海軍軍縮会議では、補助艦の保有量について取り決められた。軍令部の主張する大型巡洋艦の対米7割が認められないまま、④ 浜口雄幸内閣は条約調印に踏み切ったため、軍令部の反発を招いた。

第一次世界大戦後の大陸政策に目を転じると、日本は満州権益を擁護するために、満州軍閥の  を長年支援してきた。しかし、蒋介石の国民革命軍が北京に迫ると、関東軍は帰還途中の  を奉天郊外で爆殺してしまう。その後軍部は満州を「日本の生命線」として協調的な外交姿勢を批判するようになり、政治への介入を強めていった。

1931年9月、関東軍は奉天郊外の柳条湖で南満州鉄道の線路を自ら爆破し、この事件を中国軍のしわざとして軍事行動を開始した。第二次若槻礼次郎内閣は不拡大方針の声明を發したが、関東軍はこれを無視して占領地を拡大していった。多くの有力新聞や世論は軍の行動を支持し、1932年3月には「満州国」の建国が宣言された。「満州国」は事実上日本の傀儡国家であり、関東軍が政治の実権を握っていた。

このころ、昭和恐慌や満州事変にたいする政党内閣の対応に不満をいだく者たちの動きが活  
⑤ 発となり、青年将校や右翼によるクーデターやテロが頻発した。政党の影響力はしだいに低下  
し、かわりに軍部の発言力が増大していったといえる。

当時の陸軍内部では、直接行動によって既成支配者層を打倒して天皇親政の実現をめざす  派と、親軍的な官僚や政財界と結んで総力戦体制の確立をめざす統制派が対立していた。やがて  派の一部青年将校たちは約1400名の兵力でクーデターを起こし、前首相で内大臣の  から政府要人を殺害した。この事件後、陸軍内では統制派が主導権を確立することとなり、新たに成立した広田弘毅内閣のもとで、第一次山本権兵衛内閣において廃止された  制を復活させるなど、内閣にたいして軍が容易に介入できるようになった。

1937年7月、日中戦争が勃発した。日本軍は速戦即決をめざし、同年12月に国民政府の首都南京を占領したが、国民政府は内陸部の重慶に退いて徹底抗戦した。その後日本は国民政府の重要人物である  を重慶から脱出させ、1940年に親日的な新政府を南京に樹立したが、それでも日中戦争を終結させることができず、太平洋戦争への道を突き進むこととなった。<sup>⑥</sup>

1941年12月8日、日本軍の奇襲攻撃により、太平洋戦争がはじまった。開戦後、半年ばかりのあいだに、日本軍は香港、マニラ、シンガポールを占領し、さらには東南アジアから南太平洋にかけての広い地域を制圧した。ところが、1942年6月のミッドウェー海戦での敗戦を契機として、戦局が大きく転換した。同年後半からアメリカの対日反攻作戦が本格化し、日本軍はしだいに劣勢となった。日本国内でも、生活必需品が不足するなど、国民生活に深刻な影響が見られるようになった。<sup>⑦</sup>

1945年8月、日本はポツダム宣言を受諾し、敗戦をうけいれた。敗戦後は国の内外に配備された陸海軍の将兵の武装解除・復員が進み、日本軍は急速に解体・消滅した。さらに1947年5月3日に施行された日本国憲法第9条において、戦争放棄が定められた。こうして戦後日本は<sup>⑧</sup>平和国家として再出発をはかることとなった。

〔設問〕

(1) 空欄 a～g にあてはまる語を解答用紙B面の所定欄に記入しなさい。

(2) 下線部①～⑧にかんして、下記の問題にたいする答を1つずつ選び、解答用紙A面の所定欄にマークしなさい。

- ① 江戸時代の身分にかんする次の記述のうち、適切でないものはどれか。
- (ア) 武士は苗字を名乗ったり、刀を携帯することができた。
  - (イ) 城下町では、武家地・寺社地・町人地などが配置された。
  - (ウ) えた・非人とよばれる身分の人々は、他の身分の人々と区別され、賤視の対象とされた。
  - (エ) 「士農工商」以外にも、芸能者や修験者など職業や住む地域によってさまざまな身分があった。
  - (オ) 農村では本百姓が名主（庄屋・肝煎）をつとめ、水呑百姓は組頭・百姓代をつとめるのが一般的であった。
- ② 徴兵令公布後の出来事にかんする次の記述のうち、適切でないものはどれか。
- (ア) 廃刀令が布告された。
  - (イ) 讒謗律と新聞紙条例が制定された。
  - (ウ) 江藤新平を首領とする萩の乱が起きた。
  - (エ) 士族に金禄公債証書を交付して、家禄の支給を廃止した。
  - (オ) 西南戦争では、反政府軍を鎮圧するまでに半年以上かかった。
- ③ 大日本帝国憲法にかんする次の記述のうち、適切でないものはどれか。
- (ア) 憲法草案は枢密院で審議された。
  - (イ) 行政・立法・司法の三権分立がとられた。
  - (ウ) 憲法が発布される前に内閣制度がつくられた。
  - (エ) 天皇を補佐する元老の役割について定められた。
  - (オ) 国務大臣はそれぞれが単独で天皇を輔弼することが定められた。
- ④ 浜口雄幸内閣にかんする次の記述のうち、適切なものはどれか。
- (ア) 重要産業統制法を制定した。
  - (イ) 浜口雄幸が外相を兼任した。
  - (ウ) 立憲政友会を中心とする政党内閣であった。
  - (エ) ロンドン海軍軍縮条約を批准する前に、総辞職に追い込まれた。
  - (オ) 金融恐慌への対応として、支払猶予令（モラトリアム）を発した。

- ⑤ この時期のクーデターやテロにかんする次の記述のうち、適切でないものはどれか。
- (ア) 虎ノ門事件では、裕仁親王が狙撃された。
  - (イ) 三月事件では、軍部政権樹立がめざされた。
  - (ウ) 五・一五事件には、海軍の青年将校が関与していた。
  - (エ) 十月事件は、満州事変のさなかに起きた事件である。
  - (オ) 血盟団事件では、三井合名会社理事長の団琢磨が殺害された。
- ⑥ 太平洋戦争に至る過程に関連して(ア)から(オ)の出来事を古い順に並べ替えたとき、3番目に該当するものはどれか。
- (ア) 日ソ中立条約が締結された。
  - (イ) 独ソ不可侵条約が締結された。
  - (ウ) 日独伊三国同盟が締結された。
  - (エ) 日本軍が南部仏印に進駐した。
  - (オ) フランスがドイツに降伏した。
- ⑦ 太平洋戦争下の国民生活にかんする次の記述のうち、適切なものはどれか。
- (ア) 国民徴用令が制定された。
  - (イ) 女子挺身隊が結成された。
  - (ウ) 国民精神総動員運動がはじまった。
  - (エ) 生活必需品の切符制がはじまった。
  - (オ) 電力管理法（電力国家管理法）が制定された。
- ⑧ 戦後日本の文化・学術・スポーツにかんする次の記述のうち、適切でないものはどれか。
- (ア) テレビ放送が開始された。
  - (イ) 札幌で冬季オリンピックが開催された。
  - (ウ) 大江健三郎がノーベル物理学賞を受賞した。
  - (エ) 手塚治虫が漫画『鉄腕アトム』を発表した。
  - (オ) 日本と韓国がサッカーワールドカップを共同開催した。

II 次のAとBの文章を読み、文中の空欄(a)(b)～(m)(n)にはいる、もっとも適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙A面の所定欄にマークしなさい。なお、選択肢はすべて2ケタの数字であり、空欄内の左側のアルファベットは10の位を、また右側のアルファベットは1の位をあらわすこととする。

A 「みち」の発展は、人々の活動を円滑にする。それが整備されることで、人々の社会的・経済的・文化的な活動が促進されてきた。

旧石器時代には、移動しながら生活を送っていたとされる日本列島に暮らす人々も、縄文時代になると、定住的な生活を送るようになっていた。定住が本格化すると、大規模な集落があらわれ、それぞれに交流するようになった。産出地が限られる石器の原材料の分布状況から、交易は「みち」をもちいてかなり遠くの集団との間においてもおこなわれていたことがわかる。たとえば石器の原材料の一つである黒曜石は、長野県中央部 (a)(b) から産出したものがとくに著名である。

その後、中国大陸や朝鮮半島との交流もおこなわれるようになった。このような交流も、いわば海上という「みち」を介したものといえよう。中国大陸との交流がはじめて記された文献は、『漢書』地理志である。それによると、紀元前1世紀ごろの日本は、百余国にわかれ、 (c)(d) 郡に定期的に使者を送っていたという。

日本列島において、「みち」の整備が本格的におこなわれるようになるのは律令国家が成立する時期とほぼ重なっている。律令国家は、全国を国・郡・里、畿内・七道に区分し、都を囲む畿内を中心に七道の諸国府へのびる官道を整備した。その道には、約16kmごとに (e)(f) が設けられた。

中世になると、産業が盛んになり、商品の遠隔地への輸送のため交通がさらに発達した。水上交通も栄え、商品の中継・委託販売や運送を担う業者があらわれた。大津・坂本・淀などの交通の要地では、陸あげされた物資を陸路で運搬する (g)(h) や車借が活躍した。また、畿内と蝦夷（北海道）との交易も活発になり、その交易は (i)(j) 半島の十三湊を拠点とした安藤（安東）氏によって推進された。

江戸幕府は、豊臣政権の政策を引き継いで街道を整備していった。江戸・大坂・京都を中心に、各地の城下町をつなぐかたちで、全国的な道路がつくられた。とくに五街道は、江戸の日本橋を起点として幕府が直轄・整備をおこなった。街道の要所には、江戸の治安維持などを目的として関所がおかれた。東海道の関所は、 (k)(l) と新居に設置された。

年貢米などの大量の物資の輸送は、海上交通が利用された。江戸・大坂間の海路が運輸の大動脈となり、17世紀なかごろからは木綿などを輸送する定期船が就航した。また、江戸商人である (m)(n) は、出羽酒田を起点として江戸に至る東廻り海運・西廻り海運の航路を整備し、全国規模の海上交通網を完成させた。

このように、前近代社会においては「みち」の整備が人々の活動を円滑に進めるうえで不可欠なものであった。

B 17世紀後半、江戸・大坂・京都の三都は当時の世界でも有数の大都市となり、諸産業が発達した。経済活動が活発化する一方で、幕府財政は悪化し、その立て直しに迫られた。享保の改革のもとで幕府財政は一時的に立ち直りを見せたものの、飢饉に端を発する米価高騰により江戸の米問屋にたいする打ちこわしが起こった。幕藩体制に動揺のきざしが見られると、経世論が盛んになり、(a)(b) は『経済要録』や『宇内混同秘策』などを著して産業の国営化と貿易による重商主義をとらえた。

明治時代には、維新直後の財源不足のために発行された不換紙幣の問題が日本経済の難点となり、西南戦争期には不換紙幣のさらなる増発のために激しいインフレが生じた。松方財政下での厳しい緊縮政策と、銀本位制の確立によって物価が安定すると、その後は株式取引も活発になり産業界は活気づいた。たとえば鉄道においては、政府の保護をうけた民営の(c)(d) が成功したことで、民営鉄道も次々と建設されるようになり、1889年には民営鉄道の営業距離が官営鉄道を上回るようになった。民間の鉄道敷設にかんする政府の保護主義にたいし、田口卯吉の『東京経済雑誌』は経済自由論の観点から批判を加え、犬養毅の『東海経済新報』などと論争をおこなった。

大正時代になると、第一次世界大戦により日本経済は好景気を迎え、国民の生活水準は向上した。しかし大戦景気の底は浅く、戦後には過剰生産から恐慌が発生し、その後も度重なる恐慌がつづいた。この時期、労働運動をはじめとして社会運動が盛んになり、学問の世界では(e)(f) が影響力を増していった。その影響は狭義の経済学だけでなく学問研究の方法にも及び、『日本資本主義発達史講座』などに論文を執筆した講座派と、雑誌『労農』などに論文を執筆した労農派とのあいだで、日本の資本主義の特質などをめぐる活発な議論が展開された。

第二次世界大戦後の日本では、GHQが経済機構の民主化を指令した。財閥の解体が進められ、1947年には独占禁止法が制定され、また(g)(h) 法によって巨大独占企業の分割がおこなわれることとなった。この頃には、戦争直後の極度の物不足と、終戦処理に関連した通貨の増発のため、インフレが急速に進んでいた。政府は預金封鎖や新円切り替えなどをおこなったが、効果は一時的であった。また、1946年12月には、経済学者の有沢広巳の考案をもとにした傾斜生産方式の採用を決定し、翌年1月には(i)(j) を創設して融資と補助金交付をおこなった。

世界では、アメリカを中心とする資本主義陣営とソ連を中心とする社会主義陣営の二大陣営が形成され、軍事・経済・イデオロギーなどあらゆる面で激しい競争が展開された。冷戦構造のなかで、アメリカの対日占領政策は、非軍事化・民主化から経済復興に転換された。

これにより、(g)(h) 法にもとづく実際の分割は11社にとどまった。さらに、アメリカの銀行家 (k)(1) の要求にもとづいて、政府は予算の均衡や経済合理化を進め、最終的にインフレを収束させた。

1952年4月、約7年に及んだ占領は終わり、日本は独立国としての主権を回復した。それから日本経済は急速に成長し、1956年度の『経済白書』では「もはや戦後ではない」と報告された。池田勇人内閣は、ケインズ経済学の影響を受けたエコノミストの下村治らの提案を軸に、国民所得倍増計画を発表し、経済成長を推進した。また、1962年には国交のない (m)(n) と準政府間貿易（LT貿易）の取り決めを結んで、貿易の振興をめざした。この高度経済成長により、国民の所得は増加して消費生活は豊かになったが、環境破壊や公害病など深刻な社会問題が発生した。

〔語 群〕

- |            |            |                |
|------------|------------|----------------|
| 01 阿蘇山     | 02 今井宗薫    | 03 碓氷          |
| 04 駅家      | 05 男鹿      | 06 海保青陵        |
| 07 借上      | 08 桂女      | 09 過度経済力集中排除   |
| 10 河村瑞賢    | 11 企業合理化促進 | 12 金融緊急措置      |
| 13 郡家      | 14 久慈      | 15 栗橋          |
| 16 玄菟      | 17 神津島     | 18 国際復興開発銀行    |
| 19 国鉄      | 20 小仏      | 21 財政構造改革      |
| 22 酒屋      | 23 佐藤信淵    | 24 下北          |
| 25 シャウブ    | 26 白河      | 27 新自由主義       |
| 28 真番      | 29 角倉了以    | 30 大韓民国        |
| 31 帯方      | 32 太宰春台    | 33 茶屋四郎次郎      |
| 34 中華人民共和国 | 35 中華民国    | 36 朝鮮民主主義人民共和国 |
| 37 津軽      | 38 伝馬      | 39 東海道線        |
| 40 ドッジ     | 41 トルーマン   | 42 ニクソン        |
| 43 二上山     | 44 日本開発銀行  | 45 日本主義        |
| 46 日本鉄道会社  | 47 日本輸出銀行  | 48 箱根          |
| 49 馬借      | 50 復興金融金庫  | 51 本陣          |
| 52 本多利明    | 53 松前      | 54 マルクス主義      |
| 55 南満州鉄道   | 56 楽浪      | 57 臨屯          |
| 58 ロマン主義   | 59 和田峠     |                |

Ⅲ 次のA～Gの文章を読み、設問に答えなさい。

A (天平宝字八年九月) 壬子。軍士石村村主石楯、を斬りて、首を京師に伝ふ。  
は、<sup>①</sup>近江朝の内大臣藤原朝臣鎌足の曾孫、平城朝の贈太政大臣武智麻呂の第二子なり。率性聡敏にしてほぼ書記に渉る。大納言阿倍少麻呂に従ひて算を学び、もっともその術に精し。……二年、大保を拜す。優勅ありて、姓の中に恵美の二字を加へ、名をと曰ひ、功封三千戸・田一町を賜はり、……

B <sup>②</sup>宇治殿ハ後一条・後朱雀・後冷泉三代ノミカドノ外舅ニテ、五十年バカリ執政臣ニテヲハシケリ。後冷泉ノスエニ撰籙ヲ大ニ条殿ト申ハ教通、<sup>②</sup>宇治殿ノ御ヲトナリ。テテノ御堂モヨキ子トヲボシテ、<sup>②</sup>宇治殿ニモヲトラズモテナサレケルガ、年七十二テ左大臣ナリケルヲ、ワガ御子ニハ通房ノ大将トテカギリナクミメヨク人モチイタリケル御子ノ、廿ニテウセラレニケルノチ、京極ノ大殿師実ハムゲニワカキ人ニテアリケルニ、コサレム事ノイタマシクヲボサルルホドノ器量ニテ大ニ条ドノアリケレバ、ユヅラセ給ヒケルヲ、ヨノ人<sup>②</sup>宇治ドノノ御高名、善政ノ本体トヲモヘリケリ。

C 一 寺社本所領の事……

諸国擾乱に依り、寺社の荒廢、本所の牢籠、近年倍增せり。而るに適静謐の国々も、武士の濫吹未だ休まずと云々。仍て守護人に仰せ、国の遠近に依り日限を差し、施行すべし。承引せざる輩に於いては、所領の三分の一を分ち召すべし。所帯無くば、流刑に処すべし。……

次に近江・美濃・尾張三ヶ国の本所領半分の事、兵糧料所として、当年一作、軍勢に預け置くべきの由、守護人等に相触れ訖んぬ。半分に於いては、宜しく本所に分かち渡すべし。若し預人事を左右に寄せ、去渡さざれば、一円に本所に返付すべし。

D ……各耕シテ子ヲ育テ、子壯ニナリ、能ク耕シテ親ヲ養ヒ子ヲ育テ、一人之ヲ為レバ万人之ヲ為テ、貪り取ル者無レバ貪ラルル者モ無ク、轉定モ人倫モ別ツコト無ク、轉定生ズレバ、人倫耕シ、此ノ外一點ノ私事無シ。是レノ世ノ有様ナリ。

E 九月、具視ハ中山忠能・正親町三条実愛・中御門経之ト共ニノ大挙ヲ図議スルヤ、忠能等建武中興ノ制度ヲ採酌シ官職ヲ建定セント論ス。具視以謂ク、建武中興ノ制度ハ以テ模範ト為スニ足ラスト、之ヲ操ニ咨問ス。操曰ク、ハ務メテ度量ヲ宏クシ、規模ヲ大ニセンコトヲ要ス。故ニ、官職制度ヲ建定センニハ、当サニ神武帝ノ肇基ニ原ツキ、寰宇ノ統一ヲ図リ、万機ノ維新ニ従フヲ以テ規準ト為スヘシ。具視之ヲ然リトス。

F 前おきは省きます

私は無政府主義者です

私はあなたをその最高の責任者として 今回大杉栄を拘禁された不法について、その理由を糺したいと思いました

……

私に会うことが、あなたの威厳を損ずる事でない以上、あなたがお会いにならない事は、その弱味を曝露します。

私には、それだけでも痛快です。どっちにしても私の方が強いのですもの、

私の尾行巡査はあなたの門の前に震える、そしてあなたは私に会うのを恐れる。ちょっと皮肉ですね、

ねえ、私は今年二十四になったんですから あなたの娘さんくらいの年でしょう？

でもあなたよりは私の方がずっと強味をもっています。そうして少くともその強味は或る場合にはあなたの体中の血を逆行さすくらいのことは出来ますよ、もっと手強いことだって

——

あなたは一国の為政者でも私よりは弱い。

G 第一条 本法ニ於テ エ トハ戦時（戦争ニ準ズベキ事変ノ場合ヲ含ム以下之ニ同ジ）ニ際シ国防目的達成ノ為、国ノ全力ヲ最モ有効ニ發揮セシムル様、人的及物的資源ヲ統制運用スルヲ謂フ

〔設 問〕

- (1) 次の a～g の問にたいする答を解答用紙 B 面の所定欄に記入しなさい。
- a 文章 A は、『続日本紀』の一部を書き下したもので、ある人物のいわば簡単な伝記である。文中の ア にはいる名を漢字 2 文字で答えよ。
- b 文章 B は、中世のある人物が記した歴史書の一部である。文中の下線部②「宇治殿(宇治ドノ)」は誰か。
- c 文章 C は、『建武以来追加』に採録された 1352 年発布の法令の一部を書き下したものである。この法令を何というか。
- d 文章 D は、18 世紀半ばに安藤昌益によって書かれた著作物の一部である。文中の イ にはいる言葉を漢字 2 文字で答えよ。
- e 文章 E は、ある人物にかんする伝記の一部であり、文中の議論は、ある年の 12 月 9 日に生じた、天皇を中心とする新たな政治体制の成立と関係している。文中の ウ にはいる言葉を漢字 4 文字で答えよ。
- f 文章 F は、関東大震災の直後に憲兵によって殺害されたある人物が、1918 年に当時内務大臣であった後藤新平に宛てた書簡の一部である。この人物は誰か。
- g 文章 G は、1938 年に制定された法令の一部である。文中の エ にはいる言葉を漢字 5 文字で答えよ。
- (2) 次の①～⑦の問にたいする答を 1 つずつ選び、解答用紙 B 面の所定欄にマークしなさい。
- ① 文章 A の下線部①「近江朝」の都が存在した場所として、適切なものはどれか。13 頁の地図 A から選べ。
- ② 文章 B に関連し、平安時代後期の文化にかんする次の記述のうち、適切でないものはどれか。
- (ア) 『伴大納言絵巻』には、応天門の変が描かれている。
- (イ) 『扇面古写経』の下絵には、人々の暮らしぶりが描かれている。
- (ウ) 『今昔物語集』には、インド・中国・日本の説話が記されている。
- (エ) 奥州藤原氏が建立した代表的な建築物として、富貴寺大堂がある。
- (オ) 絵巻物が発達し、動物を擬人化して描かれた『鳥獣戯画』が生まれた。

- ③ 文章Cに関連し、南北朝時代・室町時代にかんする次の記述のうち、適切でないものはどれか。
- (ア) 京都北山に金閣が造営された。
  - (イ) 二条良基によって連歌集『菟玖波集』が編纂された。
  - (ウ) 朝廷は閑院宮典仁親王に太上天皇の尊号を宣下しようとしたが、実現しなかった。
  - (エ) 山城南部の国人たちは国一揆を起こして、畠山氏に軍勢を国外に退去させることを要求した。
  - (オ) 足利氏の家臣、守護の一族、有力な地方武士などを集めて奉公衆とよばれる幕府直属の武士団がつくられた。
- ④ 文章Dに関連し、近世の学問や思想にかんする次の記述のうち、適切でないものはどれか。
- (ア) 平賀源内は、寒暖計をつくった。
  - (イ) 京都の町人石田梅岩は心学をおこし、日常道徳を説いた。
  - (ウ) 寺子屋では、師匠が読み・書き・そろばんなどを教えた。
  - (エ) 富永仲基は、『経世秘策』において西洋諸国との交易による富国策を説いた。
  - (オ) 多くの藩で藩政改革がおこなわれ、人材育成の必要から藩校（藩学）が設立された。
- ⑤ 文章Eに関連し、文中の議論がおこなわれた時期から、もっとも近い時期に起きた出来事は次のうちどれか。
- (ア) 二条河原落書が京都鴨川に掲げられた。
  - (イ) ロシア使節ラクスマンが根室に来航した。
  - (ウ) 「神武景気」とよばれる経済状況がつづいた。
  - (エ) 国民の勤儉貯蓄などを求める戊申詔書が発された。
  - (オ) 後醍醐天皇が吉野の山中に逃れ、正統の皇位にあると主張した。
- ⑥ 文章Fに関連し、近現代日本の女性をめぐる動向にかんする次の記述のうち、適切でないものはどれか。
- (ア) 平塚らいてうらが、1911年に青鞜社を結成した。
  - (イ) 第二次世界大戦中に新婦人協会が結成され、国民動員の一翼を担った。
  - (ウ) 第二次世界大戦後初の衆議院議員総選挙では、39人の女性議員が誕生した。
  - (エ) GHQが幣原喜重郎内閣にたいし、女性参政権の付与を含む五大改革を指令した。
  - (オ) 市川房枝らが、参政権の要求など、女性の政治的地位の向上を求める運動をおこなった。

- ⑦ 文章Gに関連し、1930年代にかんする次の記述のうち、適切でないものはどれか。
- (ア) 火野葦平の従軍体験をもとにした『麦と兵隊』が刊行された。
  - (イ) 中国では、国民党と共産党が提携し、抗日民族統一戦線を成立させた。
  - (ウ) ソ連を中心とする国際共産主義運動への対抗を掲げる日独防共協定が結ばれた。
  - (エ) 高橋是清首相が東京駅で右翼青年に狙撃されて重傷を負い、その翌年に死亡した。
  - (オ) 東京帝国大学教授の矢内原忠雄が、政府の大陸政策を批判したことで大学を追われた。

A

